

適正利用・エコツーリズム検討会議経過報告・今後の予定

1. 知床エコツーリズム戦略の運用状況

過去に提案のあった3件について、取り組み等を進めた。平成26年度においては、②④の提案が新たに条件付き等で承認された。

①知床ヒグマエサやり禁止キャンペーン（提案者：斜里町観光協会）

平成25年度より主に斜里町で実施。企業と連携しパンフレットを配布する等積極的な啓発活動を進めている。平成26年には、ヒグマへの餌付け行為が北海道生物多様性保全条例により禁止された。今年が計画最終年。

②厳冬期の知床五湖エコツアー事業（提案者：斜里町観光協会）

冬期閉鎖されていた道道知床公園線を、知床五湖まで除雪し、冬期の知床五湖をガイド同伴でまわるエコツアー。初年度の平成27年は1月22日～3月22日までの60日間で実施した。

④赤岩地区昆布ツアー（提案者：羅臼町観光協会）

半島先端部での文化資源を活用したツアー。コンブ漁の歴史と文化について解説を行う。平成26年度から3年間、非営利のモニターツアーとして条件付きで、検討会議の管理下で試行的に実施。

2. 個別地域における取り組み状況

○知床五湖における利用調整地区制度の運用

昨年度限定的に運用したヒグマ活動期における地上遊歩道の2ルート併用を本格的に開始した。

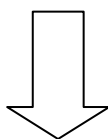
○カムイワッカ地区におけるマイカー規制

平成27年度は8月1日～25日及び9月19日～23日の計30日間でマイカー規制を実施する。

マイカー規制期間におけるバス巡回場（500m手前）からの徒歩利用が開始（平成28年まで）

○ウトロ海域におけるケイマフリをシンボルとした協働

知床ウトロ海域環境保全協議会として、海鳥モニタリングや知床海鳥WEEKと銘打った各種イベントを実施。海域観光の充実や収益の環境保全への還元、野生動物と人との適正な関係の周知等を目的として知床ウトロ海のハンドブックを発行し、平成26年度は約1600冊を販売。



3. 平成27年度の主な予定

提案の提出状況等に応じ、適正利用・エコツアーリズム検討会議を年間1～2回程度、開催予定。第1回は9月1日を予定しており、現在までに提出されている知床財団、北海道、環境省からの提案を主に検討する。

また、岬地区の利用のあり方については「利用の心得」の改定を視野に入れ、別途協議の場を設ける。その際には、「利用の心得」の根拠である「先端部利用適正化基本計画」や「申し合わせ」を基本とし、先端部全体ではなく岬地区に限定して検討する方針。